

八雲

第58号

(令和3年10月発行)

大東高校校歌

1. 勝田の森の奥深く
文の林に分け入りて
学びの花を摘まんかな
袂の花のほこらひに
我が青春は謳ふべし
2. 夕影たかく秋深き
織部の山に風かよふ
かの夕づつの訪ひを
返らぬ夢ときくなれば
手をとりにていざ共に哭け
3. 理想の洋は遥かなり
真理の道の遠ければ
あゝカルデアの牧人が
尋ねし星を今更に
中天高くよまんとす
4. 東天高く曙の
光は走る今にして
平和の鐘のひびく時
自由と愛の舵をとり
いざ大瀛に棹さゝん





東京五輪・パラリンピックの レガシー（遺産）

八雲会会長 土江博昭

一週間違いで広島での被爆を免れた亡き父がよく歌っていた「長崎の鐘」「なぐさめ はげまし 長崎の ああ 長崎の鐘が鳴る」特に、これは、幼い頃の私に長崎を強く印象づけた一節であり、今でも父が歌っていた姿や声を思い出すほどです。ただ、あの頃は歌の歌詞や戦争の悲惨さを理解して聞いていたわけではなく、通信兵として戦争体験をもつ父の歌う姿や、それを見守る母の姿が焼きついていただけかもしれません。

今年の夏は、新型コロナウイルス感染急拡大、極暑・熱中症、そして「緊急安全確保」が発令される災害等々の脅威を感じる中で、広島、長崎の「原爆の日」、そして8月15日には、76回目の終戦記念日を迎えました。家族、友達、大切な人、故郷などを奪った戦争のむごさと被爆された人々の悲しみや、苦痛に対する「平和への祈り」を捧げました。

平和の祭典といわれる東京五輪は、「長崎原爆の日」の前日、8月8日に閉幕しました。「多様性と調和」のテーマの下に、人種や国境を超え、熱いエネルギーの戦いが、多くの感動、勇気、そして友情をもたらしました。

期を同じくして高校生の皆さんの熱い戦いも厳しい環境の中で、文化、スポーツで若いエネルギーを燃やしてくれました。「おりべ通信」の7月号では、母校大東高等学校の生徒の皆さんの県総体男女総合3位の快挙が伝えられ、2年ぶりの大会に歓喜あふれる生徒の皆さんの姿を思い浮かべることができました。

スポーツは「する人」「観る人」「支える人」によって、交流が生まれ、地域の一体感や活力を醸成し、私たちに楽しみや喜びを与えてくれる素晴らしい文化だと思います。

コロナ禍での東京五輪・パラリンピックの開催には賛否両論がありました。真に開催の意義は、東京五輪・パラリンピックがレガシーとして何を残していくのか、その結果にあると思います。

世界規模で捉えるならば、国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」の中で平和で包括的な社会の推進もレガシーの一つと考えられます。平和な世界、平和な日本にするために、次代を担う子どもたちに人権や多様性を尊重し合う気持ちや価値観を育てることも教育が果たす重要な役割だと思います。

今、私は、「個性を育む創造プロジェクト」の一員として、子どもの貧困をはじめ、障がいのある子どもたちや不登校など様々な状況にある子どもたちの支援活動を行っています。

「誰一人として取り残されることのない」包括的な地域の実現を願って、ボランティアスタッフの皆様や指導者の皆様、趣旨に賛同し協賛していただく企業の皆様と共に取り組んでいます。子どもたちの楽しそうな姿や笑顔で私たち大人が元気になり、学年、世代を超えた温かな交流が子どもたちに自信と勇気を与えているような気がしています。

6月21日の山陰中央新報では、島根の県立高校で「通級指導」導入という記事が載っていました。今、国では、高等学校における特別支援学級の導入も検討されています。私は、お互いの多様性を認め合い、共生し、「誰一人として取り残されることのない」我が母校、大東高等学校の姿を願っています。



やり始める やり続ける 成し遂げる ～2nd シーズン～

校長 田根 衛

2021年、1月から夏までの大東高校ではいろいろなことがありました。正月の雪で野球部の小屋が壊れたり寒波で始業式の8日を休校にしたりし、寒さ厳しい冬でした。2月になっても新型コロナウイルス感染症は収束する気配もなく、3月の卒業式は昨年が続いて在校生・来賓不在の式となりました。3月中旬には、桜が例年よりかなり早く開花し4月の始業式を待たずに散ってしまいました。今年の気候の変化は我々より桜の方が先に知っていたのかもしれませんが。4月、コロナ禍は相も変わらずで、今年の入学式も新入生と保護者だけの式となりました。その後、コロナ感染予防に配慮しながら授業や学校行事を行い、6月末の期末試験も終わってひと安心していました。しかしそれも束の間、7月上旬には雲南市を含めた県東部を豪雨が襲い、雲南市では避難所が設けられ、レベル4の「避難指示」やレベル5「緊急安全確保」が発令され、三刀屋では家屋の浸水被害も出ました。大東高校近くでも道路の路肩が崩れました。JR木次線やバスも停まり、7月7、8、12日の3日間を臨時休校としました。ここまでの2021年はコロナ禍に加え、寒波や豪雨といった自然災害も加わった8ヶ月でした。

次に、部活動についてです。4月の中国大会県予選大会では、男子バレー部、ソフトボール部、空手道部、剣道部、バドミントン部が団体や個人で中国大会の出場権を得ました。6月の県高校総体は各部ともよく健闘し、Bグループ（中規模校）男女総合3位でした。特に、空手道部の個人組手2位、バドミントン部女子シングルス2位、女子ダブルス優勝、ソフトボール部優勝となり、それぞれインターハイ出場権を獲得しました。また、野球部の7月県選手権大会では、一回戦が江

津工業高校と、2回戦津和野高校と対戦して勝ち進みましたが、3回戦の大社高校には残念ながら2対8で敗れました。甲子園出場の夢は後輩へと引き継がれました。吹奏楽部は7月末の島根県吹奏楽コンクール（小編成の部）で銀賞でした。このほかの部活動も含めた生徒の活躍の様子は、学校だより「おりべ通信」に載せています。これは学校のホームページにも掲載していますので、そちらもご覧ください。

最後に、大東高校のグランドデザイン（令和4年度グランドデザインは次ページ）についてです。このグランドデザインは大東高校の教育目標や教育内容等を図式化したものです。生徒募集の際に学校紹介として活用したり、教育内容を評価し高校魅力化につなげたりしていくためのものであり、毎年見直しをしていくものです。

「やり始める やり続ける 成し遂げる」の合い言葉も2年目となりました。引き続き、グランドデザインにありますチャレンジ精神を育み、主体的に学ぶ姿勢や最後までやり抜く力を身に付けさせ、地域や未来を創造する人材の育成に努めて参ります。会員の皆様には、今後とも母校へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。





教育目標

知・徳・体 調和のとれた人間の育成

- 広く知識を求め、不所の勉学に努める生徒を育成する。
- 自己を大切にすると共に、他者を思いやることのできる心豊かな生徒を育成する。
- 積極的に心身の鍛錬に努める生徒を育成する。



育成したい生徒像（グラデュエーション・ポリシー）

人と、つながることができる
【人間力】

- 多様性を認め、自他ともに尊重することができる、心豊かな生徒

学んだことを、つなげることができる
【学力】

- 学んだことをつないで、主体的に学習を推進し、キャリア実現につなげていく生徒

自分と地域の未来を、つむぐことができる
【社会力】

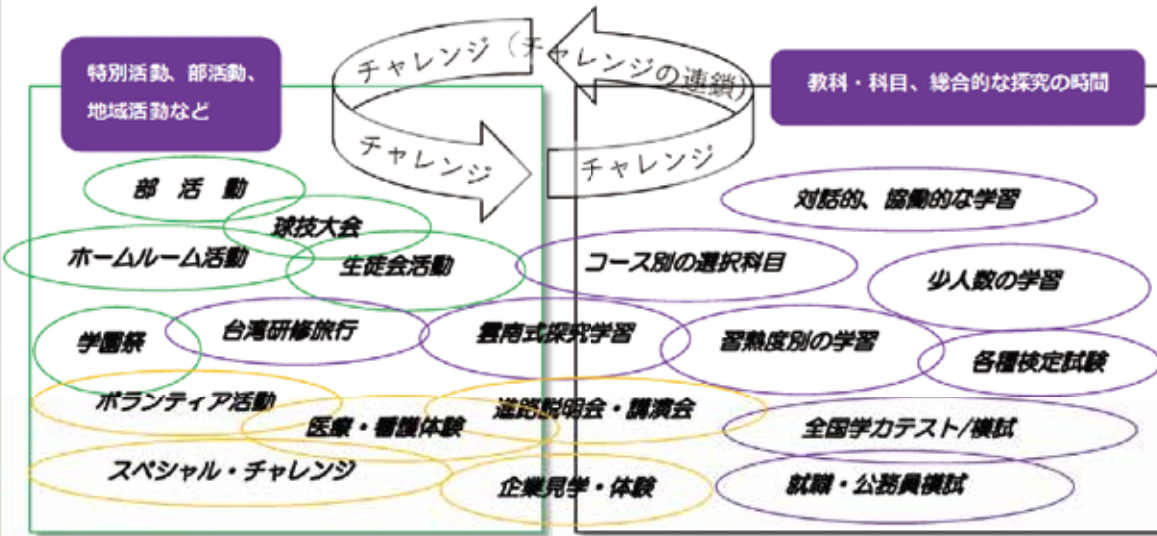
- 地域や社会とのつながりを自覚し、自分自身の未来を地域の未来につむいでいこうとする気概をもった生徒

何をどのように学ぶか（カリキュラム・ポリシー）

- 多様な進路に対応したカリキュラム ～可能性を開き、チャレンジを支える～

キャリア教育

- キャリア教育の目標 「主体的に学び、自らの未来を切り拓いていくことができる生徒を育成する」
- 主体性を育む（チャレンジ精神、寛容さ、協働する力、広い視野、思考力、表現力、計画実行力）



チャレンジが連続する、雲南市

あいさつが響き合うまち、大東町

<雲南コミュニティハイスクール・コンソーシアム>

求める生徒像（アドミッション・ポリシー）

「知・徳・体 調和のとれた人」をめざし、チャレンジする生徒

本校の使命
(スクール ミッション)

- 生徒の希望進路を実現すること
- 地域および社会を支える人材を育成すること
- 地域社会に開かれた教育活動により、地域の活力となること

新入会員紹介

YAKUMOKAI



吉木 陸駆 (第73期)

僕は今年から県立広島大学に進学して、生物の生命と環境について学んでいます。今は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど大学内に入っただけの授業はできていない状況で、実験なども思うようにできていません。そのうえ、人との交流がそもそも少ないため友達を作るのにもとても苦労しました。自分たちの世代は、新型コロナウイルス感染症のために、目標としていた部活の大会ができなかったり、学校をやむを得ず休まないといけなくなったりと高校最後の年は充実した生活がおくれていたとはいえません。だから、大学では自分から行動を起こして充実した生活にしていこうと考えました。そこで、僕は今までやってきたことのなかったスポーツを始めたり、自分の興味のある分野の教授に質問をしに行ったりして自分の生活をより充実させようと奔走しています。僕が大学に進学して感じたことは、「待っているだけでは自分の欲しいものを手に入れることは出来ない、だからこそ自分から行動を起こさないといけない」ということです。僕は、大学で過ごす四年間を、能動的に学び、たくさんの人とかかわりを持ち、たくさんの経験をするのでとても充実したものにしていきたいです。僕をここまで育ててくれた大東への感謝の気持ちを忘れずにこれから歩んでいきます。



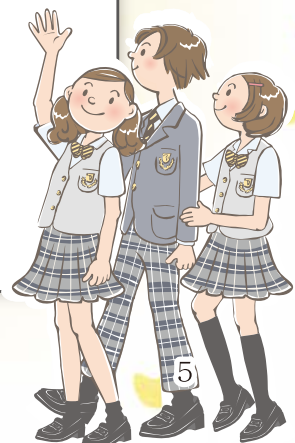
藤井 悠依 (第73期)

私は、4月からホシザキ株式会社で働いています。社会人となり、改めて挨拶をすることの大切さを実感しました。挨拶ひとつで本当に印象が変わってきます。

また、仕事中はどんなことでもメモを取ることを心掛けています。4、5月は特に初めてのことばかりで1回で覚えようと思ってもなかなか覚えられませんでした。皆さん忙しいので同じことを2、3回も聞くことができません。だから、自分のためにしっかりとメモを取っておくことが大事だと思いました。私は、あまりメモを取る習慣がなかったので、メモを後で見返したときに自分でも何を書いているのかわからなくなってしまったことがありました。高校生の時からメモを取る習慣を身につけておけば良かったなと感じました。

周りの方々がやさしく、とてもいい環境で仕事をさせてもらっています。早く信頼してもらえるように、自分のキャリアアップをこれからどんどんしていきたいです。

高校生のうちにいろいろなことにチャレンジし、学生生活を楽しんでください。



八雲会 令和2年度事業報告 令和3年度事業計画

令和2年度 事業報告

令和2年

- 4月24日(金) 第1回校内幹事会(役割分担等)
- 4月30日(木) 監査会 (R元年度決算)
- 5月中旬 役員の皆様へ資料送付
(決算、予算、事業、総会)

7月 4日(土) 八雲会総会 (中止)

10月 会報「八雲」第57号発刊

11月28日(土) 春殖支部会

12月 7日(月) 大東支部会

12月13日(日) 久野支部会

12月23日(水) 幡屋支部会

令和3年

1月13日(水) 加茂支部会

2月19日(金) 第2回校内幹事会(入会式)

3月 1日(月) 第73期八雲会入会

令和3年度 事業計画

令和3年

- 4月28日(水) 第1回校内幹事会(役割分担等)
- 5月18日(火) 監査会 (R2年度決算)
- 5月下旬 役員の皆様へ資料送付
(決算、予算、事業、総会)

7月 3日(土) 八雲会総会 (中止)

10月 会報「八雲」第58号発刊

関東支部会

関西支部会

広島支部会

松江支部会

大東支部会

春殖支部会

幡屋支部会

佐世支部会

阿用支部会

海潮支部会

久野支部会

塩田支部会

加茂支部会

宍道支部会

木次支部会

(コロナウィルスの感染状況により、日程変更や中止の場合があります)

令和4年

2月 第2回校内幹事会(入会式)

2月28日(月) 第74期八雲会入会式



令和2年度 大東高校八雲会一般会計決算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
入会金	840,000	817,200	▲ 22,800	年額3,000円
繰越金	359,497	359,497	0	前年度繰越金
寄付金	500,000	549,500	49,500	寄付金
雑収入	3	5	2	預金利息
合計	1,699,500	1,726,202	26,702	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
総務費	535,000	73,607	▲ 461,393	
会議費	230,000	845	▲ 229,155	役員会
旅費	200,000	0	▲ 200,000	
通信費	30,000	15,113	▲ 14,887	郵券代
事務費	25,000	29,599	4,599	振替払込書印字サービス代、振込手数料
管理費	50,000	28,050	▲ 21,950	会員登録、データ管理等
事業費	1,110,000	732,843	▲ 377,157	
八雲発行費	650,000	604,043	▲ 45,957	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	100,000	▲ 320,000	加茂、大東、春殖、幡屋、久野の各支部
入会式	40,000	28,800	▲ 11,200	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	10,000	22,138	12,138	慶弔費
予備費	44,500	0	▲ 44,500	
合計	1,699,500	828,588	▲ 870,912	

(収入総額) 1,726,202円

(支出総額) 828,588円

(差引残額) 897,614円・・・令和3年度へ繰越

特別会計(積立)決算書

令和元年度末残額	5,401,612円
令和2年度返済費(記念誌代)	43,823円
令和2年度利息	43円
令和2年度末残額	5,445,478円

令和3年度 大東高校八雲会一般会計予算書

1. 収入の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
入会金	819,000	840,000	▲ 21,000	年額3,000円×273
繰越金	897,614	359,497	538,117	前年度繰越金
寄付金	500,000	500,000	0	寄付金
雑収入	6	3	3	預金利息
合計	2,216,620	1,699,500	517,120	

2. 支出の部

(単位：円)

費目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備考
総務費	535,000	535,000	0	
会議費	230,000	230,000	0	役員会、総会費
旅費	200,000	200,000	0	支部会出席等旅費
通信費	30,000	30,000	0	郵券等
事務費	25,000	25,000	0	事務用品、振替払込書印字代等
管理費	50,000	50,000	0	会員登録、データ管理等
事業費	1,120,000	1,110,000	10,000	
八雲発行費	650,000	650,000	0	会報「八雲」印刷代、発送費等
支部助成費	420,000	420,000	0	関東、関西、広島、松江、加茂、木次、宍道、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部
入会式	50,000	40,000	10,000	入会記念品(卒業証書入用筒)
雑費	10,000	10,000	0	
予備費	551,620	44,500	507,120	
合計	2,216,620	1,699,500	517,120	

特別会計(積立)予算書

令和2年度末残額	5,445,478円
令和3年度利息	322円
令和3年度末残額	5,445,800円

令和2年度～令和3年度 八雲会役員一覧

役職	氏名	期	役職	氏名	期
顧問	川上 朋良	高3	副会長	錦織 直行	高19
	景山 純孝	高9		田根 衛	校長
	安原 重隆	高11	監事	増田 敏男	高10
会長	土江 博昭	高18		狩野 健吉	高18
副会長	太田多美子	高13		石川 辰子	高23
	景山 源栄	高15			

【理事】

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	青木 愛治	高18	塩田	新田 国善	高27
	光谷由紀子	高18		加茂	錦織 直行
	福岡久仁子	高22	藤原 慶介		高12
	安部 幸治	高24	岸本 邦夫		高19
	早川 光幸	高24	永瀬 敬治	高23	
春殖	横山 美昭	高20	高橋 雄二	高32	
	木村 晋吾	高27		佐藤 隆司	高31
幡屋	森山 武史	高25	木次	細木 弘志	高32
				穴道	渡部 清美
佐世	錦織 一夫	高17	松江	細木 勝美	高18
	高橋 敬二	高22		八幡 憲次	高19
阿用	永瀬 康典	高18	広島	佐藤 眞	高17
	陶山 隆之	高17		富久 禮識	高6
	矢壁 正弘	高28		佐藤 和紀	高12
	安部万里子	高28	関西	広木 益夫	高16
久野	上代 英治	高29	関東	鏝木 茂雄	高32
	長妻 賢二	高32		持田 啓司	高32
	三澤 郁穂	高35			
海潮	新田 昭隆	高15			
	木村 昭憲	高17			
	宮川 稔	高27			

【大東高等学校事務局】

事務局長 渡部 勝(教頭)	幹事長 門脇 康文(高39)
幹事 安立 朋久(事務長)	幹事 森山 智(高32)
幹事 小山 剛(高35)	幹事 藤原 智美(高48)
幹事 上野城将志(高51)	幹事 加藤 宏明(高57)
幹事 小山 美紀子	

よろしくお願ひします。

【代議員】

令和3年9月6日現在

地区	氏名	期	地区	氏名	期
大東	小山 益男	高20	松江	岩橋 弘政	高18
	下見 美光	高24		勝部 修	高19
	狩野 恵子	高24	広島	渡部 剛	高16
	山本 司	高32		三島 暁子	高17
春殖	糸原 優二	高33	関西	小山 勉	高23
	田中 久志	高33	関東	佐藤 博芳	高32
幡屋	郷原 辰雄	高22	【八雲会支部長】 大東支部 青木 愛治 春殖支部 横山 美昭 幡屋支部 森山 武史 佐世支部 錦織 一夫 阿用支部 永瀬 康典 久野支部 上代 英治 海潮支部 新田 昭隆 塩田支部 新田 国善 加茂支部 錦織 直行 木次支部 佐藤 隆司 穴道支部 渡部 清美 松江支部 細木 勝美 広島支部 佐藤 眞 関西支部 広木 益夫 関東支部 鏝木 茂雄		
	舟木 忠夫	高24			
	武田 良伸	高32			
	田中 互	高37			
佐世	安部 博	高18			
	鶴原 憲治	高25			
阿用	木色 薫	高20			
	森山 肇	高24			
	安井 修	高25			
久野	福間 美博	高34			
海潮	岩田 和義	高19			
	福間 廣明	高20			
	佐々木 徹	高23			
	山根 和幸	高25			
塩田	安達 隆亜	高42			
加茂	竹村 治美	高17			
	吉岡 敏隆	高27			
木次	上野城保明	高49			
穴道	佐藤 和彦	高32			



「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金のお願いをいたしましたところ、日本各地にいらっしゃいます卒業生の皆様より寄付金を頂戴しました。この紙面をお借りしまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

1. 寄付状況

◇総額：558,500円 ◇振込人数 125人

◇都道府県別寄付状況（人）

北海道 2 福島 1 栃木 1 埼玉 2 東京 7 千葉 2 神奈川 3 愛知 2 岐阜 1
大阪 16 京都 4 奈良 2 兵庫 3 岡山 2 広島 12 山口 1 島根 63 佐賀 1

◇口別寄付状況（人） 1口1,000円

1口/33 1.5口/1 2口/14 3口/34 5口/20 6口/1 8口/1 10口/16 20口/3 30口/2

2. 寄付者芳名録 （期順、敬称略） ※令和2年9月1日～令和3年8月31日

期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県	期	氏名	都道府県
実女9期	勝本 春枝	島根	高11期	安原 重隆	島根	高21期	鍛治 咲子	大阪
高女5期	森山 匡子	島根	高12期	大坂 幸子	東京	高21期	奥津 正江	岡山
高女6期	足立 弥生	島根	高12期	森脇 猛	奈良	高22期	斉藤 鈴子	愛知
高女併中1期	九鬼 敏恵	大阪	高12期	土谷 武盛	島根	高22期	原 幸生	大阪
高女併中1期	石田 守子	島根	高12期	坂村 泰子	島根	高22期	中村 淳	大阪
高3期	矢野 操子	大阪	高12期	野津 克彦	島根	高22期	岩崎 美枝子	大阪
高3期	藤間 凜子	神奈川	高12期	大家 真木子	島根	高22期	齋藤 由美子	埼玉
高3期	江草 まゆみ	京都	高13期	田形 満雄	島根	高22期	宮迫 博	佐賀
高3期	経種 信明	北海道	高13期	太田 多美子	島根	高22期	武田 文夫	東京
高3期	勝部 美保子	島根	高定13期	三島 修	京都	高22期	吉岡 祥治	島根
高3期	大島 真司エ	島根	高14期	山根 幸江	大阪	高22期	岡田 伸	島根
高定3期	狩野 精夫	神奈川	高14期	小林 孝芳	島根	高22期	高橋 敬二	島根
高5期	藤本 浩子	大阪	高14期	高橋 良次	島根	高22期	稲田 恵子	島根
高5期	藤原 義正	兵庫	高14期	錦織 涿郎	島根	高23期	小山 勉	大阪
高5期	山本 あさか	広島	高14期	安原 知加子	島根	高23期	相原 文枝	岡山
高5期	狩野 彰彦	広島	高15期	高島 節郎	東京	高23期	簾 洋一	広島
高5期	入江 早苗	島根	高15期	松林 京子	島根	高23期	門脇 文雄	北海道
高5期	田部 京子	島根	高16期	長谷川 亨	島根	高23期	倉内 敦子	島根
高6期	永田 泰弘	東京	高17期	山崎 善吉	愛知	高24期	長妻 幸宏	島根
高6期	石田 登住	島根	高17期	荒木 千代美	大阪	高24期	澤村 保子	島根
高6期	勝部 光代	島根	高17期	佐々木 ハツコ	神奈川	高24期	安部 幸治	島根
高7期	平野 栄子	広島	高17期	石原 和美	京都	高25期	鶴原 憲治	島根
高8期	土井 進	大阪	高17期	加納 昭	兵庫	高26期	原 泰夫	千葉
高8期	木村 喬	栃木	高17期	宮廻 直幸	兵庫	高26期	上代 祐治	広島
高8期	加納 武夫	福島	高17期	小山 智佳子	島根	高26期	赤名 秋夫	島根
高8期	藤原 和夫	島根	高17期	森山 綾子	島根	高26期	福岡 幸夫	島根
高8期	瀧 清	島根	高17期	永田 美恵子	島根	高27期	坪倉 憲一	広島
高10期	田中 力	大阪	高17期	錦織 一夫	島根	高31期	佐藤 隆司	島根
高10期	山崎 久美子	埼玉	高17期	岡田 幹雄	島根	高32期	福本 修司	東京
高10期	佐々木 陸子	千葉	高17期	奥原 稔	島根	高32期	佐藤 博芳	東京
高10期	高橋 潮	奈良	高17期	桑谷 妙子	島根	高32期	森山 智	島根
高10期	岡田 邦雄	広島	高18期	藤田 マスミ	大阪	高33期	金森 正	大阪
高10期	森 龍治	広島	高18期	土江 博昭	島根	高35期	石川 千登勢	東京
高10期	青木 春彦	広島	高18期	青木 愛治	島根	高36期	中島 俊光	京都
高10期	森脇 和子	島根	高19期	後藤 ヒロ子	岐阜	高39期	門脇 康文	島根
高10期	増田 敏男	島根	高19期	今岡 光範	広島	高39期	太田 晶久	島根
高11期	伊元 一枝	大阪	高19期	錦織 直行	島根	高44期	安原 みずほ	島根
高11期	井上 映子	島根	高19期	郷原 保男	島根	高71期	石川 雄介	島根
高11期	岡田 靖男	島根	高19期	蘆田 信夫	島根		八雲会佐世支部	島根

本人死去によりご家族様からの寄付（7名）・匿名希望の方からの寄付（1名）

振込方法

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。一口1,000円から受け付けてさせていただきます。

◆寄付金額：一口 1,000円

◆振込先：ゆうちょ銀行（振込手数料はかかりません）

口座記号番号 01390-5-103127 口座名称 八雲会

◆その他・卒業生のお名前でお振り込みください。（ご家族の方等が振り込まれる場合も）

- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
- ・振込期限はありません。（随時受付をしています）

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) 一三九(イサキユウ)店(139)
預金種目: 当座
口座番号: 0103127

最近の学校の様子



【お詫びと訂正】

広報「八雲」第57号の掲載記事に誤りがありました

広報「八雲」第57号(令和2年度10月発行)に掲載誌ました以下の記事に関して誤りがありました。

ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

10ページ

令和2年度～令和3年度 八雲会役員一覧
(誤) 福間久二子 → (正) 福間久仁子

編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心よりお礼申し上げます。

ありがとうございました。



大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校

〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637

TEL(0854)43-2511・FAX(0854)43-2512

E-mail: daito-hs@edu.pref.shimane.jp

ホームページ <https://www.daito-h.ed.jp/>

☆大東高校公式 [facebook](#) もご覧ください